

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(イデアシステム株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則に記載、入社時に教育を行っている。 2回/年 個人面談を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働基準法を都度確認しており、残業や休日出勤を行うときは部門長の承認を行い、過度の労働時間を制限や有休取得日を5日/年取得するよう周知している。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			外国人労働者への差別や人権侵害がないように、外国人雇用時は事前に社員全員に差別のない会社であることを周知する。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			毎月改善委員会にて、3S/ストロールにて、整理、整頓に加え、危険個所の洗い出しを行い、改善している。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			年2回 各部署毎で個々と面談を行い、ストレスの解消等を行っている。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			65歳までの再雇用制度を導入している。 管理職への女性登用を進めている。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			「出口/中期/部門長作成の」教育訓練計画」及び「力量評価表にて」個々のレベルアップを図るため、セミナー等に行きやすくしている。(新入社員教育・各種資格取得)				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し同一労働同一賃金等の原則に沿った体制も整備、対応を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			インフルエンザ予防接種の一部補助の実施 健康診断及び人間ドックの費用の補助を行っている。			3					8									
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の分別と産業廃棄物処理やマニフェストの管理と1回/年の県への報告を法定通り行っている。									11.6	12.4		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			エコアクション21に加盟しており、毎月のエネルギー等に使用量を把握し、マネージメントレビューにて報告・対策を行っている。							7.3				13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			エコアクション21に加盟しており、毎月のエネルギー等に使用量を把握し、マネージメントレビューにて報告・対策を行っている。							7.2 7.3			12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			ISO及びE A21において、法令等で規制されている有害化学物質を把握している。			3.9			6.3				11.6	12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			エコアクション21の活動にて、有機溶剤等の有害物の流出防止、廃液の横転防止対策を行っている。								6.6													15			
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			経費削減活動やテレビ等の電化製品のリサイクルを行っている。													12.5		14.1									
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			エコアクション21において月毎に集計を行い、原因や対策を行っている。								6.4 6.6																
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			エコアクション21を取得している。				3.9				6	7									12	13.3	14	15			
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			エコアクション21において、環境レポートを提出し、情報をインターネットにて開示している。																		12.6						
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			現在、再生可能エネルギーの利用は行っていないが、今後、電力の再生可能エネルギーについて、電力会社と提携して進める。											7.2										13			
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		天然資源の持続的利用に配慮した調達は行っていない																				12.2	13	14	15	
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			弊社独自の規則の「行動基準書」に汚職・贈収賄について記載しており、入社時に説明・周知している。																						16	16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			弊社独自の規則の「行動基準書」に調達活動について記載しており、入社時に説明・周知している。																						16		
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			弊社独自の規則の「行動基準書」に知的保護について記載しており、入社時に説明・周知している。														8.2 8.3			9							
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			弊社内文書「個人情報管理要領」に個人情報や取り扱いの管理について記載しており、入社時に説明・周知している。																						16		
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			顧客要求に沿って紛争鉱物の調査を実施している。																						16		
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先調査を年1回実施し、共有している。																							17	
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している								3								8	9	10					17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
3次元実装の検証を推進		顧客の実装を実現化する。									9.1								
遠隔システムの拡販		自動駐車場の拡大や他システムの開発									9.4		11.3	12.7					
防犯カメラのクラウド化の推進		管理システムの高度化を推進（トラブルでも現地に行かなくても良い）									9.b								
短時間労働者の採用		パートで採用し、優秀な人材を正社員に登用していく。				4.4	5.C												

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定